

1. 基礎情報

担当課名		こども課	
事業名	大規模学童分割工事		
事業区分	継続事業	施策体系	2 子育てしやすく、だれもが成長できるまち
会計区分	一般会計		(1) 子育て支援の充実
補助金等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 無	取組No.	② 保育サービス
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他 ( )		205
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	児童福祉法 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度(平成 年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返(平成 年度～継続) <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度(平成28年度～平成30年度)		

2. 事業の概要

現状・課題	あすか野学童 3施設 251人 生駒学童 2施設 170人 桜ヶ丘学童 2施設 143人の状態であり、施設が狭隘となり、児童の安全を確保し、保育を行っていくことは困難な状況。			
目的・意図	〔当該事業を実施することによって何をめざすか〕 学童児童にとって安全、快適で衛生的な保育環境が確保され、保護者も安心して子どもを預け就労等ができる。			
事業の概要 (全体計画)	事業の対象	学童保育児童	(対象数: 1355 )	
	総事業費 (平成28年度～平成30年度)	239,362千円		
	既存あすか野1学童を解体し、新たに2階建ての学童施設(2学童分)を建設 生駒小学校空き教室を利用して第3学童を建設 桜ヶ丘1学童を解体し、新たに2階建ての学童施設(2学童分)を建設			
各年度の概要※	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	生駒学童設計 あすか野学童設計	あすか野学童分割工事 生駒学童分割工事 桜ヶ丘学童工事設計施工		
事業費A (千円)	4,688	234,674		
※	国・県支出金		76,768	
	起債			
	その他の特財			
	一般財源	4,688	157,906	
職員従事者数(人・年)B	0.1	0.4	0	0
人件費C=B×6,700千円	670	2,680		
概算コスト A+C	5,358	237,354		

※各年度の概要及び事業費は予算議案が確定する前のものが含まれています。

3. 必要性・有効性・効率性・発信性

(事業実施に当たって、具体的にどの程度市民ニーズがあるか、事業実施による効果や成果はどの程度か、事業費や職員従事者数等を踏まえて事業効率を図っているか、事業の先進性や独自性などシティブロモーションに寄与するかなど、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容を記入してください。)
3学童施設とともに、分割の目安である1学童当たり60人を超える児童数となっており、早急に分割を行い、良好な保育環境の確保が必要である。

4. その他特記事項

創設の場合 子ども子育て支援整備交付金 基準額 24,964千円×4学童+解体費1,250千円+仮設1,861千円 補助率 国1/3 県1/3 空き教室利用の場合 子ども子育て支援交付金 基準額 12,000千円+3,000千円=15,000円 補助率 国1/3 県1/3
---